

繋げよう! 安心、安全、信頼の輪

Z E N S H O K Y O

全 商 協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

10 OCTOBER
2012
VOL.11



特集■地区遊商のボランティア・社会貢献 実態調査
特別インタビュー■青松英和 全日遊連理事長

Z E N S H O K Y O
全 商 協
全国遊技機商業協同組合連合会広報誌
 CONTENTS **10** OCTOBER
 2012
 VOL.11



日本の歳事記にも
 すっかり定着してきた感のハロウィン
 1年の終わりは10月31日とするケルト人が
 この夜は死者の霊が家族を訪ねたり
 精霊や魔女が出てくると信じたことが起源

-
- 1** 特別インタビュー 青松英和 全日遊連理事長
-
- 4** 特集 8地区における ボランティア・社会貢献活動等の実態調査
-
- 10** 幼児の車内放置事故防止活動を全組合で実施 理事会報告
-
- 11** 役員さん登場！ 畠山和生 理事
-
- 14** 達つあんの辛口コラム
-
- 15** 第3回 全商協会長杯チャリティーゴルフコンペ
-
- 18** 地区遊商だより Vol.7
-
- 20** NEWS リカバリーサポート・ネットワークへの協力支援
-
- 21** 業界NEWS・編集後記
-

特別
インタビュー

青松英和

全日本
遊技事業協同組合
連合会

理事長

早速ですが、今年6月に全日遊連の理事長に就任された心境からお話しください。

青松 前任の原田理事長から理事長職をバトンタッチされましたが、考えていた以上にその責務は重いと感じています。ご承知の通り全国のホール営業者を網羅しているのが全日遊連です。その組織の運営を任されているわけですが、日本の社会が大きく変わろうとし、ホール営業だけではなく遊技産業全体が歴史的な方向転換を求められている中で、これから組合員をどう導いていくのか、その点に重責を感じています。

遊技業界が厳しい時代を迎え、歴史的な方向転換が求められているとお話ですが、その状況下でホール営業には何が求められていますか。

青松 現時点ではホール営業の在り方と社会の価値観が大きく乖離してしまったと感じています。日

ホール営業者の全国組織である全日遊連に青松英和新理事長体制が誕生した。

2期4年にわたる原田實前理事長のもと副理事長を務めたが、今後は遊技産業が難局を迎えている中で組合運営の舵取りを行う。

そこで、青松理事長に、現在の心境やホール営業の在り方、全商協に対する要望など多岐にわたるお話を伺った。

● **あおまつ ひでかず**
略歴 昭和24年2月生まれ。長野県上田市出身。有限会社東正の社長として、長野県内に5店舗を経営する。平成15年に長野県遊技業協同組合の理事長に就任。平成20年に全日遊連の副理事長に就任し、平成24年6月に現職となる。趣味はゴルフと初めて訪れた町の散策。座右の銘は、父の教える「常に謙虚であれ」。

本の社会が成長期にある時は業界も一緒に右肩上がりの成長を遂げて、産業として大きく飛躍しました。しかし、社会が安定期に入って成熟していく中で、かつての経済成長の時のような営業を展開するのは無理があります。なぜかと言いますと、国民が得られる収入が頭打ちとなり、むしろ減少傾向にあるからです。その中で遊技産業がさらに拡大・発展を目指すためには、社会との関わりを見つめ直す必要があります。

例えば昔を振り返りますと、パチンコはその時代の日当分の金額で遊べる娯楽でした。しかし、現在は1回の遊技でサラリーマンのひと月のお小遣いを使い切る場合もあります。これでは正常な娯楽だとは思えません。その意味でも遊技産業の在り方が大衆娯楽の範疇から少し逸脱していると感じています。1回の遊技に要する金額は、今の時代でしたら概ね1万円程度に収めるべきではないでしょうか。

——そうしますと大衆娯楽としての原点を見つめ直す時期である？

青松 そうです。あくまでパチンコは大衆娯楽の範疇であり、また大衆娯楽に徹しなければ遊技産業

の未来はありません。

——大衆娯楽という観点では、1円パチンコに代表される低貸営業が普及しています。

青松 その1円パチンコなどの低貸営業ですが、私はホールの営業戦略が行き詰まった中での窮余の一策だと捉えています。低貸営業が多くファンの支持を得ているのは事実ではありますが、ホールの営業の観点から見た場合にどの店舗でも通用する手法だとは思っていません。やはり貸玉4円でゆっくり遊べる、そうした営業が望ましいと思います。

——たしかに現在のホールの経営環境をみますと、貸玉1円では営業面で難しい問題があるのも事実です。

青松 そこでですね。1円パチンコ

で全国のホール営業者が利益を確保でき、継続的に経営を維持できれば良いのですが、全体的にその手法が通用するかという点と難しい問題です。一番大切なのは、現在の1円パチンコのような状況を4円パチンコでも実現することです。

——また、広告宣伝規制の問題などホール営業の厳しさが指摘されています。この点を理事長はどうお考えでしょうか。

青松 広告宣伝に関しては、脱法的な表現や法の目をかいくぐる表現の追求が現場責任者の能力だと勘違いされた面があったことは否めません。そこで、もう一度現場の管理者への再教育を徹底し、法規制のもと営業される業であることとを再確認しなければなりません。先程も言いましたが、日本の経済

が成長期を迎えて遊技産業も大きく飛躍しました。しかし一方では許可された営業者ではないホールの管理者が店舗運営の最前線に立ち、営業上の責任を負わされるようになっていきます。だからこそ、これまで以上に法に対する教育が大切になります。

——この危機的な状況から脱するためには、他団体との連携も重要になると思います。

青松 他団体との連携については原田前理事長が相当な努力をされまして、団体間の意見交換がスムーズに行える環境になっています。そのため各団体との意思の疎通が図りやすく、遊技産業が危機的な状況にあるとの共通認識もありますから、未来に向けて遊技産業を継続させていくために何をするべ

パチンコとは
大衆娯楽の範疇であり、
また大衆娯楽に徹しなければ
未来はありません

きなのか、真剣に議論できる環境は整っています。

——全商協としても全日遊連を始め、他団体との連携を深めて遊技産業の活性化に寄与したいと願っています。話は変わりますが、東日本大震災から1年半が経過しました。

青松 私は昨年、震災の被害状況ができる限り知るために被災地に足を運びました。現地状況をみると、まだまだ復興には時間がかかると感じました。その中で被災した宮城県、福島県、岩手県の業界関係者の方々は地元被災地への支援活動を展開されています。ただただ頭の下がる思いです。全日遊連としても息の長い支援活動をしていく方針に変わりはありません。また、甚大な被害をもたらす災害が発生した時に、全日遊連としてどういった支援態勢を構築できるのか、今後も議論を継続していきます。

——また、災害発生時の支援だけではなく社会貢献活動も積極的にを行っています。

青松 理事長になってから全国の組合員の社会貢献活動を知る機会が増えていきます。組合員の皆さんは素晴らしい活動を展開していま



す。しかし、残念ながら、その素晴らしい活動が社会から正當に評価されていないのも事実です。そこで、社会から正當に評価される社会貢献とはどういう活動なのか。今後さらに深く研究したいと思っています。

——では全日遊連の理事長として、全商協及び組合員に期待する事は何でしょうか。

青松 まず間違いなく遊技産業が存続する限り、遊技機の流通を担う全商協及び組合員の皆さんの活

動は必要になります。中でも中古機流通では、遊技機の価格が高騰していますから、2次、3次と有効に活用できることはホールにとって大切なことです。そこでお願いしたいことは、遊技機の不正改造の防止と適正な廃棄台処理です。これまでもご努力されていますが、今後も健全な業界の発展のために不正対策等でご尽力いただきたいと思っています。

——最後になりますが、今後の抱負をお聞かせください。

青松 業界全体に遊技産業が危機的状況だとの共通認識がある中で、全日遊連はホール営業だけを考えればよいという時代ではありません。今後はホール、メーカー、販売業者など遊技産業に携わる全ての方々と一緒に、いかに業界を育て、未来に継承していくのか。この点を真剣に議論していく必要があります。そこで遊技産業全体を良い方向に導くために、各団体の橋渡しの役割を務めていければと、そのように考えています。

各地区が特色ある 積極的活動を展開



特集 8地区遊商における ボランティア・社会貢献活動等の実態調査結果

この3年間の活動と今後の取り組みの実態を具体的に答えてもらったアンケートに加え、全商協・各地区遊商がこぞって参加した南三陸町でのボランティア活動ルポ、さらに四国遊商ならではのユニークな試み「接待木」活動についての蓼科理事へのインタビューなど、現場の様子も交えて報告する

今回のボランティア・社会貢献活動の実態調査は、およそ過去3年の期間について行いました。各概要については、河川敷の清掃、地元のパレードへの参加など地域に根差した活動を各地区で積極的に行い、二度、実施した社会貢献を10年以上継続して行っているケースもある一方、その都度発生する自然災害などにも迅速に対応している活動などがみられました。

また、東日本大震災への支援については、金銭的支援にとどまらず、ボランティアなどの人的支援も実施しており、多くの組合が今後の活動予定に入れています。寄付金についても、平成23年度は、8組合の合計で、約8696万円にのぼりました。各組合員のボランティア・社会貢献等への参加意識は、ばらつきがあるものの、機会があれば参加したいという意見も多くありました。東日本遊商の創立40周年記念誌の中に「平成12年3月 台東区社会福祉協議会に1000万円寄付。平成10年、11年に続き3回目」という記事が掲載されています。

また、現在ほど企業や団体の社会的責任(CSR)などという言葉が浸透していなかった頃から、全商協傘下8組合は、社会貢献活動を実施してきました。東日本大震災を契機に、遊技業界は、社会の中でどのような存在であるべきか、今まで以上に考える必要があります。パチンコを行う人はもちろんのこと、行わない人にも遊技業界の社会的存在価値への理解を深めてもらうことが求められています。

今後も、全商協傘下8組合は連携して、社会の信頼と共感を得ることができるよう、団体としてのCSRのひとつとして、社会貢献活動を実践していきます。今回、調査にご協力いただいた各地区の事業・広報委員、組合員の皆様に改めて感謝申し上げます。

全商協 事業・広報委員会委員長 蓼科勝利



北海道遊商=清掃



中部遊商=河川敷の清掃活動



関西遊商=集まったエコキャップ



中国遊商=暴力団追放パレードに参加

●調査目的

8組合のボランティア・社会貢献活動の実態を調査し、今後の活動推進の基礎資料とする

●調査方法

調査書を全商協事業・広報委員及び各組合事務局にメールにて送信、回答を得た

●調査期間

調査実施時期 平成24年8月
調査対象期間 平成21年4月から
平成24年6月までのおおよそ過去3年分

炎天下、汗と涙と笑顔が溢れた

東北遊技機商業協同組合(高橋一則理事長)主催の宮城県南三陸町のボランティア活動(9月7日〜8日)に全商協並びに地区遊商の役員など9名が参加し、東北遊商組合員と共に仮設住宅の敷地内に約30畳のコミュニティハウスの建築及び炊き出しを行った。

参加者は、ボランティア活動の前に被災地の赤い鉄骨だけになった、総合防災庁



舎、震災の翌日に卒業式が行われる予定であった戸倉中学校などを視察し、悲惨な光景を目の当たりにした。視察後、コミュニティハウス建築チームと炊き出しチームの2班に分かれ、仮設住宅の住民をマイクロバスでピストン輸送し、2日間に渡り、焼き鳥、焼きそば、カレーなどの炊き出し、景品の当たるくじ引きなどのイベントを実施し多くの住民に喜ばれた。

コミュニティハウスの建築は、炎天下の中行われ皆汗だくになり、作業に励み8日に無事完成した。完成後、地元の自治会役員らも参加し、上棟式、餅巻きを行い、引き渡しをした。

高橋理事長は、住民の笑顔が一番嬉しいと語り、今後も継続して活動をしていくと述べた。

ボランティア参加ルポ

晴天で残暑の厳しい9月初旬、JR仙台駅に全国の各地区遊商を代表して9人が集合、東北遊商が行う宮城県南三陸町の西戸(さいど)地区のボランティア活動に合流した。

質問 1

平成21年4月から平成24年6月までに組合として行った主なボランティア・社会貢献活動の概要とその寄付・委託先等について回答下さい。
また、その活動を開始した時期と、現在までの実施回数をご記入下さい

北海道遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	ペットボトルキャップ回収(10箱送付)	エコキャップ推進協会	H21年	常時
2	献血活動	日本赤十字社	H22年	1回
3	チャリティー募金	羊ヶ丘養護園	H23年	1回
4	東日本大震災への義援金	宮城県	H23年	2回
5	市民まちづくり活動促進基金へのチャリティー募金(札幌市)	さぼーとほっと基金	H24年	1回
6	北海道パチンコ業界等の有志による「すすきのごみ拾いクリーン作戦」	すすきの観光協会	H24年	1回

東北遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	東北6県の児童養護施設への寄付	一関藤の園・藤聖母園など	H19年	5回
2	ペットボトルキャップ回収	エコキャップ推進協会	H22年	2回
3	不要DVDの回収(ワクチンに変える)		H23年	1回
4	使用済切手の回収	日本キリスト教海外医療協力会	H24年	随時
5	南三陸町ボランティア・コミュニティハウスの建築・炊き出し	宮城県南三陸町(戸倉地区)	H24年	1回

特集 8地区遊商における ボランティア・社会貢献活動等の実態調査結果



仙台の街は、震災の影響が感じられるところはなかったが、マイクロバスで高速道路を約2時間ほど走り、県道とJR気仙沼線が並行して通っている場所にさしかかると、線路があつた形跡はまったくなく、トンネルも崩れ落ち、震災の影響の凄さを最初に実感することになった。その後、南三陸町に入ると、瓦礫の山が10mもあろうかという高さで積まれている光景が多々見られ、家屋もほとんどなく家の土台だけがあるという、1年半を過ぎた今でも復興とはほど遠い現実である。しかし、そのような光景とは逆に志津川湾の美しい風景が広がっていた。皮肉なことに津波の影響で海底がかき混ぜられたため、栄養分が分散し魚がたくさん獲れるようになったとのこと。やはり、自然というのは、

想像がつかない力を持っている。その志津川湾沿いを走ると東北遊商の炊き出し会場に到着した。既に東北遊商の組合員は集まつており、高橋理事長の号令のもと準備を行い、理事長が汗だくになりながら率先して焼きそばを作り、焼き鳥、くじ引きなど夏祭りのイベントに子供からお年寄りまで、終始笑顔で楽しんでおり、特にくじ引きは大盛況であつた。また、参加者からお礼の言葉をかけてもらい、我々も準備の疲れが一気に吹きとんだ。地区遊商からの参加者には、元とび職の方もいて、プロ顔負けの道具を自前で揃えるなど感服する仕事ぶりであつた。2日目も良い天気の中、たこ焼きに大行列ができ、たい焼きも作ればすぐになくなるなどイベントは大成功に終わった。

その後、コミュニティハウスの建設現場に炊き出しのメンバーが到着した頃には、昨日までは骨組みだけだった建物も立派に完成していた。このコミュニティハウスの建築担当チームは、外国人現場監督のステイプ氏の下、炎天下の中、慣れない作業を行い、まさに汗と努力の結晶の建物を作り上げた。

質問 1

東日本遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	盲導犬育成のための寄付	日本盲導犬協会	H18年頃	10回
2	地域貢献における運営助成金の拠出	東京藝術大学	H19年頃	5回
3	管内各都県遊協が実施する社会福祉活動への協賛金	千葉県「夢まるファンド」など	H19年頃	毎年
4	社会福祉事業のための寄付	島田療育センター	H21年	3回
5	新燃岳火山災害対策のための寄付	宮崎県	H22年	2回
6	東日本大震災への義援金	日本赤十字社・千葉県・茨城県	H23年	1回
7	児童虐待防止に向けた寄付・普及活動（オレンジリボン運動）	児童虐待防止全国ネットワーク	H23年	3回
8	リカバリーサポート・ネットワーク啓蒙ノベルティの製作	ホールを通じての配布	H24年	1回

中部遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	使用済切手の回収	日本キリスト教海外医療協力会	H22年	1回
2	沖縄 マングローブ植樹と観察		H22年	3回
3	沖縄 サンゴ礁再生プロジェクトへの参加		H23年	1回
4	東日本大震災への義援金	日本赤十字社	H23年	1回
5	名古屋の河川敷の清掃活動	矢田川河川敷	H23年	3回
6	献血活動	愛知県赤十字血液センター	H23年	2回
7	緑の募金（緑化活動への寄付）	愛知県緑化推進委員会	H24年	1回

全員集合した後、自治会の役員と共に棟上げ式を行い、餅まきには子供も大喜びし競い合って何個取ったかを友達同士自慢しあったり、微笑ましい姿であった。最後に全員で集合写真を撮影し、組合員一同結束したことを深く認識し、高橋理事長や平川事業委員長も感動の涙を流していた。

四国遊商・夢科理事にインタビュー

遍路道に1万本植樹を目指す

——四国遊商では、お遍路さんが歩く道にミカンなど実のなる木を植える接待木「実のなる木」活動を行っています。まず、四国のお遍路について簡単に教えてもらえますか？

夢科 四国には、徳島県・高知県・愛媛県・香川県の4つの県があるのですが、その中にある弘法大師（空海）ゆかりの八十八箇所の霊場（札所）を時計まわりにまわってお参りすることを四国遍路と言います。それぞれの霊場（札所）をつなぐ道が遍路道です。そしてその巡礼の旅をする人を、親しみをこめてお遍路さんと呼びます。白装束を身につけ歩いてめぐる「歩き遍路」が基本ですが、最近是一部タクシ

今回、ボランティアに参加させて頂き、事前に準備をした東北遊商の組合員の方々の苦勞に頭が下がる思いと、被災者の方々の笑顔を見て、疲れよりむしろやりがいを感じた。また機会があれば、是非とも参加したい。日本でも有数の自然を誇る素晴らしい東北が早く復興することを切に願う。（M）

——などを使う方もいますね。

四国遍路をする人の目的は、仏の供養、精神修行など人それぞれですが、海あり、山ありの四国の自然を感じながらひと寺ずつ詣でること、八十八の煩惱を取り除き、清らかな心になると言われています。まだ、来たことのない方には、ぜひ一度お越しいただきたいと思っています。

——いづころからどのようなきっかけでこの接待木「実のなる木」活動をはじめられましたか？

夢科 四国遊商では、平成22年度からこの活動に参加しました。四国ならではの社会貢献を検討していたところ、遍路道に果樹を植えて、お遍路さんに食べてもらおうと

関西遊商

NO.	概要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	中央共同募金会への寄付金	社会福祉法人 中央共同募金会	H14年	11回
2	チャリティーゴルフ収益金の寄付	社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団	H14年	10回
3	兵庫県遊協の社会福祉活動「はあ〜とふるふあんど」への協賛金	はあ〜とふるふあんど委員会	H14年	11回
4	大遊協の児童養護施設等を招待するイベント「未来っ子カーニバル」への人的協賛	大遊協青年部会	H15年	9回
5	献血活動	日本赤十字社	H15年	11回
6	東日本大震災への義援金	日本赤十字社	H23年	1回
7	台風12号被災地への見舞金	奈良県・和歌山県	H23年	1回
8	東日本大震災被災地での瓦礫処理活動	宮城県南三陸町	H24年	1回

中国遊商

NO.	概要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	中国5県防犯連合会への寄付金	中国5県防犯連合会	10年以上前	毎年
2	老人介護施設・リハビリ病院への遊技機の寄贈	広島県内5施設	H16年頃	4回
3	暴力追放・明るい街づくり決起大会・街頭パレードへの参加	広島市暴追防犯連合会	H20年	4回
4	広島県庄原市豪雨災害被災者への義援金	庄原市	H22年	1回
5	チャリティー・ゴルフコンペの開催	児童養護広島修道院	H23年	1回
6	アルミ製プルタブ回収運動への参加	環公害防止連絡協議会	H23年	常時
7	東日本大震災被災者への義援金	日本赤十字社・福島県	H23年	1回

特集 8地区遊商における ボランティア・社会貢献活動等の実態調査結果



いう接待木「実のなる木」活動を
NPO法人「遍路とおもてなしの
ネットワーク」が行っていること
を知りました。そこで、この活動
に賛同して参加させてもらうこと
にしたのです。

協力しているNPO法人「遍
路とおもてなしのネットワーク」
という組織について教えて下さい。

蓼科 四国には、「おもてなしのこ
ころ」が昔からあります。お遍路
さんが来ると、ふつうの街中でも
食べ物を差し上げるような文化で
す。「遍路とおもてなしのネット
ワーク」とは、高松市に事務局が
あるNPO法人です。四国遍路の
支援システムやおもてなし文化の
活性化などを目的に設立されまし
た。各地にある、お遍路さんが休
憩したり、トイレを使用したりす
る「おもてなしステーション」と
いう施設を整備する活動なども行
っています。接待木「実のなる木」
活動では、ミカンやスモモ、いち
じく、キンカンなどの果樹を合計
173本、遍路道に植えています。
最終的には、1万本の植樹を目指
しているそうです。

現在までの四国遊商の活動内
容を教えてください。



蓼科 四国遊商として昨年は、50
本の木を寄付しました。今年は、
四国遊商の設立51周年ということ
で、さぬき市に26本、美波町由岐
地区に25本、合計51本の果樹を寄
付しました。実際の植樹には、今
まで6か所に行きました。また、
木を植えるとき水やりなどの世話が
必要となりますが、地元の高校生
(高松一高生ⅡIOM88Ⅱ一高お
遍路もてなし隊)が名乗りをあげ
てくれたと聞いています。
そのように、ひとつのおもてな
しが、いろいろな人の手をまわる
のも四国らしいと思います。

四国遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	献血活動	日本赤十字社	H22年	3回
2	お遍路さん接待木 植樹	NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク	H22年	6回
3	東日本大震災への義援金	日本赤十字社	H23年	1回
4	子ども虐待防止オレンジリボン活動	NPO法人児童虐待防止ネットワーク	H24年	2回

九州遊商

NO.	概 要	寄付・委託先等	開始時期	実施回数
1	日赤福岡県支部・福岡県防犯協会等への寄付金（年1回）	日赤福岡県支部・福岡県防犯協会等	H17年	8回
2	使用済み切手の回収（平成23年～約4kg送付）	日本キリスト教海外医療協力会	H23年	2回
3	献血活動	日本赤十字社	H24年	1回
4	東日本大震災被災地でのボランティア活動	宮城県南三陸町	H24年	1回

質問2 平成21年度、平成22年度、平成23年度、各年度の金銭などの寄付金拠出額をご回答下さい。

年度	組合名	北海道	東 北	東日本	中 部	関 西	中 国	四 国	九 州
H21年度		10万	300万	1000万	15万6千	217万	40万	10万	80万
H22年度		338万	300万	1500万	25万	1227万	550万	50万	180万
H23年度		215万	300万	1000万	2005万	1320万	555万	1230万	2071万

（単位：円）

質問3

組合全体で、何割程度の組合員の方々が、ボランティア活動等に参加していますか？

北海道遊商

だいたい、8〜9割の組合員が参加している。

東北遊商

組合全体のおおよそ40名程度の組合員が参加。

東日本遊商

チャリティーゴルフコンペなどに多くの組合員が参加している。児童虐待防止活動の普及のため、組合員にオレンジリボン胸章の配布、組合行事での着用をはじめ、50周年記念式典では会場となったホテルのスタッフにも配布・着用いただき啓蒙を行った。

中部遊商

全体のおおよそ4割程度の組合員が参加している。

関西遊商

献血活動については、約6割の組合員が参加している。

“未来っ子カーニバル”や“東日本大震災ボランティア”は、人数制限があるため、約1割の組合員が参加している。

中国遊商

おおよそ、全体の5割程度の組合員が参加している。

四国遊商

全体の8割程度の組合員が参加している。

九州遊商

ボランティア活動は、今年から本

質問4

組合として、今後取り組む予定のボランティア・社会貢献活動についてご記入下さい。

北海道遊商

- ・東日本大震災への被災地支援
- ・チャリティー募金として地元施設等への寄付

東北遊商

- ・児童養護施設への寄付（継続 平成25年2月予定）
- ・ペットボトルキャップ回収（継続 ECOキャップを集めてワクチンに変える）
- ・不要DVDの回収（継続 DVDを集めてワクチンに変える）
- ・使用済み切手の回収（継続 保険医療に恵まれない地域への医療協力）

中部遊商

- ・東日本大震災への被災地支援（継続）
- ・オレンジリボン普及活動への参画など、Q1の1〜8の継続実施
- ・ペットボトルキャップ回収
- ・その他を検討中

東日本遊商

- ・オレンジリボン普及活動への参画など、Q1の1〜8の継続実施
- ・ペットボトルキャップ回収
- ・その他を検討中

関西遊商

- ・献血活動（継続）
- ・Q1の1〜5及び8の継続実施
- ・関西地区の清掃、美化活動
- ・関西地区の災害時の支援活動

中国遊商

- ・中国5県防犯連合会への寄付（継続）
- ・暴力追放・明るい街づくり決起大会・街頭パレードへの参加（継続）
- ・チャリティー・ゴルフコンペの開催（継続）
- ・アルミ製プルタブ回収運動への参加（継続）
- ・その他（現在、検討中）

献血活動（継続）

関西遊商

- ・Q1の1〜5及び8の継続実施
- ・関西地区の清掃、美化活動
- ・関西地区の災害時の支援活動

中国遊商

- ・中国5県防犯連合会への寄付（継続）
- ・暴力追放・明るい街づくり決起大会・街頭パレードへの参加（継続）
- ・チャリティー・ゴルフコンペの開催（継続）
- ・アルミ製プルタブ回収運動への参加（継続）
- ・その他（現在、検討中）

四国遊商

- ・献血活動（継続）
- ・お遍路さん接待木植樹（継続）
- ・子ども虐待防止オレンジリボン活動（継続）
- ・東日本大震災への被災地支援
- ・使用済み切手の回収

九州遊商

- ・自然災害に対するボランティア活動
- ・日赤福岡県支部・福岡県防犯協会等への寄付（継続）
- ・献血活動（継続）など



巡回を行う関西遊商組合員

幼児の車内放置事故 防止活動を 全組合で実施

平成24年5月に開催された全商協理事会で、ホールの駐車場における幼児の車内置き去りによる事故防止活動を8組合で実施することが決定した。

以前より取り組んでいた東遊商の活動をモデルとし、その他の地

区遊商でも「子供の事故防止 巡回中 ○○遊商」などと書かれた腕章を作成して、所属する組合員に配布した。

腕章を受け取った組合員は、営業や納品などでホールに向いた際、駐車場を巡回して、車内に置き去りになっている幼児の発見や不審人物などの警戒を実施する。

また、万一車内放置事例が発見された場合には、その状況などを文書で組合に報告し、さらに組合から全商協に報告して全国的に情報を共有することとした。

その一つである関西遊商の加藤セキユリティー委員会委員長に話を聞いた。

「関西遊商では、ホームページにセキユリティー委員会のページを作成しています。その中でも、ポスターなどを添付してホール駐車場における巡回活動をよびかけています。組合員の皆様は、忙しいなか大変かも知れませんが、痛ましい事故が少しでも無くなりますよう、ご協力をお願いしたいと思います」。

今後も、全国的に活動を継続して、幼児の車内事故防止に協力していく。

第3回理事会

開催日 平成24年7月13日(金)

開催場所 全商協会議室

出席人数 理事本人21名(本人出席3人・書面出席18人)

議題と審議結果・主な報告内容

①QRスキャナのプログラムの改修について

・スキャナの西暦の年記号読取等のプログラムについて、(株)アタリに改修を依頼することが承認された。

第4回理事会

開催日 平成24年10月1日(月)

開催場所 全商協会議室 各地区

テレビ会議システム設置場所

出席人数 理事本人19名

議題と審議結果・主な報告内容

①中古遊技機の流通にかかる違反処分の量定基準の改正について

・回胴遊商と協議を重ねていた「中古遊技機の流通にかかる違反処分の量定基準」の改正について審議。

②各委員会の報告について

(1)セキユリティー委員会

・各組合で実施している実技講習会の実施状況と結果の報告。

告。

・倉庫調査やホールの駐車場における子供事故防止活動など、各組合で実施しているセキユリティーに関する取り組みについての報告。
・業界6団体で実施することになった、のめり込み問題に対応するためカバリーサポートネットワークの電話番号などを記載したポケットティッシュの配布についての協力を依頼。

・「中古遊技機に関する実態調査表」のアンケートの実施について協議。

(2)遊技機リサイクル推進委員会の遊技機リサイクル選定業者の違反行為について報告。(株)昌栄

・遊技機リサイクル業者の再実査結果報告。

(3)事業・広報委員会

・第3回全商協会長杯チャリティゴルフコンペに関する報告。

・東北で実施したボランティア活動について報告。(高橋理事長)南三陸町西戸地区でコミュニティハウスを建設。また炊き出しを実施。

③その他

・中古遊技機のレンタルについて全商協の流通システムでは移動しないことを確認。

・沖縄県の入替自粛に関する説明。
・中古書類の表紙に押印する件について説明。



ECOPachi時代に 販社が必要とされる ための思索

自分の歳より会社の社歴の方がはるかに長い環境の中で育った畠山和生理事は、パチンコ業界に入るのは自然な流れだった。今の懸念材料は、ECOパチの登場によって、販社の立場がどのように変わっていくのか、ということ。販社が必要とされる存在価値を見出していかなければならない時期にさしかかって来たことを痛切に感じている。

役員さん
登場!

畠山和生

全商協理事・北遊商副理事長

ドリームX景気で
実家に呼び戻され、
寝る間もなかった
1年間

大喜屋商會が創業したのは昭和27年。人間でいえば今年、還暦を迎えた。北海道では現存する販社としては最古参でもある。先代の故・畠山権喜氏は昭和42年に設立された北遊商の初代と4期、6期の理事長を務めるなど組合活動にも尽力していた。

遊技機販社に生まれた畠山和生氏は、物心ついた時から機械の整備工場が遊び場であった。そうした環境で育ったために、機械整備の仕事が自然に手伝うようになっていた。

いずれ、家業を継ぐ気持ちはあったが、外の釜の飯を食べるべく大学卒業後は家電量販店の保守サービスの仕事に就いた。数年は電気系統の仕事を覚える予定だったのだが…。

「機械が売れて大変だからすぐに

帰って来てくれ」という一本の電話で呼び戻された。平成元年、23歳の時だった。

大喜屋商会は奥村遊機の北海道地区の総発売元だった。前年の昭和63年12月に同社の歴史的名機といわれる「ドリームX」が発売され、北海道からの注文を一手に引き受けていた。

「初日から残業でした。会社に入った時は、まず運転手です。先輩社員に連れられて納品に行くわけですが、私は入ったばかりで、釘は叩けません。取り付けと配線を手伝っていました。設置後は先輩が釘を叩くわけですが、これが結構、時間がかかる。この時が唯一の休憩時間で、この時に寝ていました。設置が終わると、私が運転して次の店に行くわけですが、先輩はこの移動中が睡眠時間です。開店直前の朝まで釘を叩いては、2〜3時間休憩して次の店です。広い北海道を2〜3チームで回っていました。一度会社を出ると5日間は帰って来られません。疲労がピークに達して信号待ちでそのまま寝込んでしまい、先輩社員も後部座席で全員爆睡です。警察官に『どうかされましたか』と窓

をノックされて起こされたことがあります」

ドリームX景気は1年あまり続いた。これが一段落したところで、釘を覚えると共に、営業にも出るようになった。

顔認証の導入で より信頼性のある 中古機流通システムへ

大喜屋商会の専務取締役を経て、代表取締役になったのは平成13年のことだった。これを機に組合にも顔を出すようになり、15年から北遊商の組合活動に参画、リサイクル委員に。17年からは北遊商の副理事長に就任すると共に、全商協では機械対策委員を務めている。

「北海道も11月から遊技機取扱主任者を対象に顔認証システムの実務試験制度を導入します。主任者代表の講習会では最初の点検確認の17項目だけでも1時間かけてやっています。安直にやると中古機流通自体が全商協から離れてしまいます。以前の中古機流通に戻ってしまつと、中古機流通の書類をメインに業を成している業者さんはダメになってしまいます。中古

機流通はわれわれにとって肝です。から、それに悪い影響を与えるものは改善しなければなりません」。

北遊商では作業部会、セキュリティ委員会、機械対策委員会が三位一体となって中古機流通問題に取り組んでいる。1円パチンコの発祥の地でもある北海道は中古機ニーズがより高い。全商協が確立した中古機流通システムを自らの手で放棄するような愚かなことをしないためでもある。

今こそ利他の心で 業界全体の利益を 考える時代

北海道は冬場ともなると雪に閉ざされて農作業や土木作業ができなくなる。夏場に比べると冬場の農村や漁村では稼働が上がる、という特殊事情がある。本州に比べると客滞在率が高い土地柄が生んだのが、少ない投資額で長く遊べる1円パチンコだった。北海道での1円パチンコの成功が、瞬く間に全国へ飛び火した。

「北海道のホールさんは、客滞率を重視する傾向がより強いので、機種選定も失敗するような冒険ができません。関東のように流動人

口も多くありませんから、限られたお客様で商売しているので、売り上げを犠牲にしても、客滞率を延ばし、長期稼働がつく機種選びとなります。そうになると、どうしても同じ機種、同じ営業形態で、ホールの特色が失われていく傾向にあります」。

1円パチンコの火付け役となった北海道は、1円パチンコの浸透により、売り上げが低下したため、ホールの新台の購入台数が減少するの一番早かった。

ピーク時には850店舗あったホール軒数も現在は620店舗。これに対して北遊商の組合員数は56社。うち、31社が中古機販売を含む販社の数である。

かつては、全国チェーンが北海道に活路を見出したが、現在は本州資本の出店計画も落ち着いている。むしろ、限られたパイの奪い合いより、広い市場を求めて関東へ出店する北海道資本ホールも。

「メーカーにしても、販社にしても自分たちだけの利益を追求する時代ではありません。団体の話をするにしても、他団体の影響を考えた上で話さないと、崩壊、あるいは分裂する恐れがあります。今

役員さん
登場!

KAZUO
HATAKEYAMA



北海道遊商
島山和生副理事長トリビア

血液型	O型
座右の銘	一期一会
好きな絵画	松田小夜子
好きな色	ブルー
好きな音楽	なし
好きなスポーツ選手	ビヨンボルグ
好きなタレント	西田敏行
好きな歴史上の人物	藤原善信
カラオケ十八番	なし
趣味	釣り
将来の夢	釣りをしながら世界一

週末は溪流釣りで息抜き、多忙な重役務めのストレス解消にもなっている。もっぱら道内の川めぐりで、ヤマメやニジマスを狙うが、時には大物を目指して、道内をはじめ、国内から海外にまで足を延ばすことも。自然の中での魚とのやり取りで、リフレッシュするナチュラルマインドの持ち主です。

ECOパチ時代に 販社が果たす役割を 求めて

こそ利他の心を持って人のため、業界全体の利益を考える時代です」と危機感を募らせる。

タイムマシンがあれば、50年後、100年後のパチンコ業界を見てみたい、という強い思いがある。それは数年後には登場するともいわれているECOパチによって、業界がどのように変わり、その時販社はどういう立場で存続しているかが気がかりなためでもある。

「かつてのCR機の時のように、急速に導入は進まないと思っています。それは射幸性がECOパチになったからといって高まることは考えられませんし、ホールさんの資金調達の問題もあります。補給設備が不要になれば、関連業者は仕事がなくなります。急激な変化を業界は望んでいません。販社もECOパチになった時に、どう関わっていくのかはまだはっきり分かりません。点検項目自体がなくなっているかも知れません。接合部の動作テストだけになっているかも知れませんが、その中で

も関わって行けることを模索しなければなりません。販社の居場所を残していくことが、50年後のためにもこれからわれわれに課せられた責務だと思う」と決意を新たにする。

ECOパチ時代に販社が生き残る真価がこれから問われようとしている。

※

週末になると溪流釣りでヤマメやニジマスを狙って道内の川めぐりをするのが息抜きになっている。最近は淡水魚では最大級の大きさに成長するイトウにも挑戦。80センチの大物を釣り上げた。

釣行は道内に留まらず、アングラー憧れの地である極東・ロシアのトゥムニン川へ遠征したこともある。新潟からハバロフスクへ飛び、列車で7〜8時間かけて現地に着く。悠久の流れ、手つかずの自然の中、ルアーフィッシングで巨大なサクラマス釣り上げた。

魚とのやりとりの中でリフレッシュしたところで、また多忙な仕事に就く。

達つあんの辛口コラム



今回は、セ・リーグを中心に今年のペナントレースを振り返ってみましょうか。巨人の圧勝は私を含めて大方の予想通りでしょう。打線の苦しさを強力な投手陣が補ったよね。原監督にしてみれば、ある程度春先の出遅れも想定内じやったと思うね。

例えば開幕から4番を阿部ではなく横浜から移籍して来た村田に任せたのが、すでに余裕しゃくしゃくの采配じやった。誰が見ても力量が上の阿部に最初から4番を打たせたら、村田のプライドが傷つく。我慢しながら自然な形で村田に引導を渡したあたりのサジ加減が絶妙よ。実際、阿部を4番に固定して1番に長野、3番に坂本

を据えてから貧打に苦しんだ打線も機能し始めたよね。

杉内と内海のバランスに関して同じ図式じやったね。生え抜きエースのプライドを尊重しながらも、FA左腕を看板に押し立てたローテーションを組んだ。多少の取りこぼしが生じてもトータルでは絶対に負けない。そうした確信がなければあそこまでの余裕は持てない。抑えにしても山口、西村マシソンをうまく使ったし、ルーキーの高木京や田原にもチャンスを与えて育てた。決して金にものを言わせた補強策でチームを強化したわけじゃないところに大きな価値があるよね。

予告先発制度も追い風になったかな。相手の右、左でベテランの高橋由、谷やボウカー、エドガーらを実にうまく使い分けた。こうして振り返れば一層、巨人がいかに勝つべくして勝ったかが分かるというもののよ。

それに比べて大誤算じやったんは阪神。まさかあんなひどい成績に終わるとは誰が予想出来た？敗因はマートン、ブラゼルの実績ある助っ人コンビの不振をはじめ、投打ともいろいろ挙げられるじやろう。中でも一番こたえたんは正

捕手の不在かな。そもそも城島が故障で使えなかったし、頼みの藤井もケガに泣かされ続けた。3番手以下の捕手陣で戦わなければならなかったのは致命的じやった。松山で7月3日に行われた広島戦が典型的。9回2死からバツテリーミスの振り逃げがきっかけで逆転されたのが転落のきっかけだったのは間違いない。

そのカーブは惜しいところでAクラスを逃がした。マエケン、大竹、野村、バrinton、福井とそろった先発陣に、救援スタッフも今村、ミコライオ、サファテと抜群。それでも問題視されとった打線がやはりあかんかったね。中でも主砲・栗原の負傷が痛すぎた。昨年8、9月に大活躍した4番が不在では、勝負所でヤクルトに突き放されたのもやむを得なかったかな。でも、古巣じゃからというひいき目を抜きにしても来年は大いに楽しみな存在ですよ。

残り3球団はと言えば、主砲・ブランコのリタイアが響かなければもっと巨人に迫ったじやろう中日は、さすがの強さ。主力に相次いだ故障禍では一番の被害にあいながら小川監督のやりくり上手ぶりで3位を確保したヤクルト。ま

あ、DeNAは中畑監督の明るさで昨年の大敗を今年は小差負けにとどめた感じじやったかな。

他方、パ・リーグは日本ハムを率いた栗山監督の名采配に尽きる。監督はもちろん、コーチ経験もないのに大黒柱のダルビッシュを失ったチームを優勝へ導いたんじゃないか。投手ではほとんど実績がなかった6年目の吉川をエースに、打者では低打率に苦しんだ中田を4番から外さずに忍耐で育て上げたのには恐れ入ったね。昨年日本一のソフトバンクは杉内、ホールトン、和田、川崎が一度にいないれば3位も仕方なかった。巨人がブツチぎったセも、最後の最後まで優勝争いがもつれたパも、改めてプロ野球の面白さをファンに教えてくれたシーズンじやったと思うね。

達川 光男●たつかわ・みつお
1955年7月13日、広島県出身、57歳。広島商では73年夏に全国制覇。東洋大を経て78年、ドラフト4位で広島入団。捕手として84、86、88年にベストナイン、ゴールデングラブ賞を獲得するなど活躍し92年に現役引退。95年ダイエーコーチ、98年広島2軍監督を経て、99年から2年間広島監督。03年阪神コーチ。現スポーツ報知野球評論家、フジテレビ・プロ野球解説者として活躍中。

全商協・中村会長からあしなが育英会東北事務所長の
林田吉司氏にチャリティー寄付金が手渡された



寄付金の寄贈先のあしなが育英会からの感謝状

会長杯と優勝旗を掲げ、中村会長の記念撮影に
応じる「燃えろ赤ヘル」(中国遊商Bチーム)の面々



「打倒、四国遊商(前チャンピオン)で頑張ってまいりました。
その甲斐あって優勝することが出来ました。
来年からVカップは離さないで、続けて勝ちたいと思います」
優勝チーム主将・井上貴博選手

第3回

全商協会会長杯 チャリティーゴルフコンペ



合計百万円を 「あしなが育英会」に

第3回全商協会会長杯チャリティーゴルフコンペが、9月28日、宮城県・利府町の名門コース、「利府ゴルフ倶楽部」で開催された。

今回、初めてゲストとして日工組(2チーム6選手)を招聘し、全商協(8地区遊商からの各2チーム)合計16チームに歴代会長チーム等を加えた、総合計20チームが参加して、トリッキーマニアコースで技を競った。プレーはチーム(3、または4人)中ベスト3のネットスコア合計で競い合う団体戦でのプレーを繰り広げた。

その結果、中国遊商Bの「燃えろ赤ヘルチーム」がネットスコア合計220・8(平均73・6)で見事優勝を飾った。第2位には九州遊商Bの「九州トンコツ」が1・8打差でつけた。3位には中部遊商Aの「世界の山ちゃんチーム」が入った。

表彰式では、中村会長から銀製の優勝トロフィー、会長杯が第3代チャンピオンとなった「燃えろ赤ヘルチーム」に手渡された。また今回から、中村会長より寄贈された刺繍飾りの「優勝旗」も贈られた。中国遊商は初代チャンピオンに次いで2度目の栄冠を獲得したことになる。なお、新設の会長賞は歴代会長チームの「ラッキーパーソンス」が受賞した。次回は、2位の九州遊商の主管で開催される予定。



第3回 全商協会会長杯チャリティーゴルフコンペ

平成24年9月28日 利府ゴルフ倶楽部

第3回全商協会会長杯チャリティーゴルフの参加選手全員が集合、記念写真に収まり、健闘を誓い合った



ゲスト参加の日工組・市原理事長（左）と全商協の中村会長が2人そろって仲良く始球式、参加選手たちが笑顔で見守った

○…この銀製の優勝カップに刻印される「優勝チーム名」と共に、大会の歴史を表す飾りとなるのも関心を呼びそうだ。また、今回は大会の趣旨である「チャリティ」としての各地区遊商から協賛頂いた金額に全商協からの寄付金を加えた合計百万円を「あしなが育英会」に贈呈することになり、東北事務所長の林田吉司様に手渡され、東日本大地震・津波被災児支援に役立ててもらったことになった。

○…全商協事業広報委員会の担当役員、遠藤副会長も「選手諸君みんなが、この趣旨を理解して頂いて、優勝目指して頑張ってもらいたいと思う。はたしてこの優勝旗を手にするチームはどこになるのか気になりますね」と前夜祭では優勝旗の行方にも注目していたが、前評判の高かった強豪の中国遊商が初の優勝旗をさらった。また、今大会から優勝したチームと第1回会長杯、第2回会長杯で優勝したそれぞれのチーム名を書き込んだ短冊も、優勝旗につけられていくことになった。

○…今回の会長杯チャリティゴルフ大会は、優勝チームに銀製のVトロフィーだけではなく、会長から寄贈された初めての優勝旗も贈られ、二重の喜びとなった。その刺繍を施された『優勝旗』は「全商協が、この会長杯チャリティゴルフコンペを通じて一致団結し、この旗の下で業界の発展と親睦を図るべく、邁進して行く」という決意を示すためのシンボルとしたい」との願いを込めて制作されたもの。



大会準備に奮闘してくれた東北遊商役員の皆さんは次回の優勝を誓って雄叫び



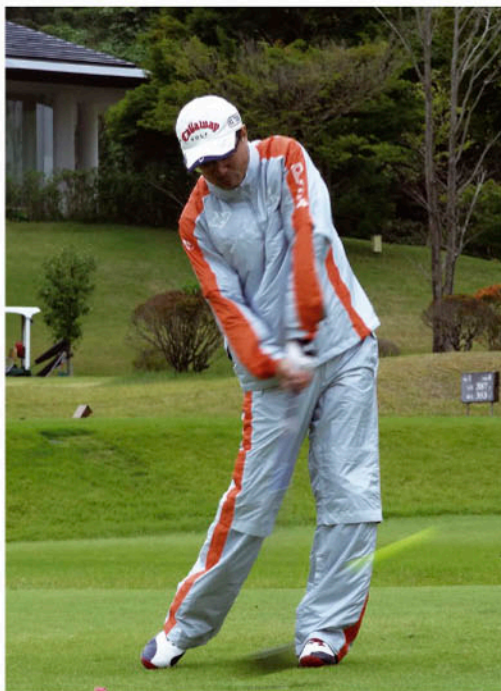
表彰式では中村会長から大会初めての優勝旗が「中国遊商B」選手団に贈られた

第3回全商協会長杯 チャリティーゴルフコンペ



● 団体成績 ●

順位/合計	チーム名	競技者名	アウト	イン	グロス	ハンディネット
優勝 220.8	燃えろ赤ヘル (中国遊商B)	平田 耕造 45 41 86 10.8 75.2				
		岩本 泰浩 42 45 87 13.2 73.8				
		安藤 一秀 47 47 94 15.6 78.4				
		井上 貴博 39 40 79 7.2 71.8				
2位 222.6	九州トンコツ (九州遊商B)	山本 龍彦 46 50 96 19.2 76.8				
		武下 俊治 43 43 86 12.0 74.0				
		高橋 二美 46 49 95 20.4 74.6				
		八坂 真吾 39 41 80 6.0 74.0				
3位 223.0	世界の山ちゃん (中部遊商A)	安藤 利彦 50 53 103 21.6 81.4				
		平井 広義 44 46 90 14.4 75.6				
		内山 知平 49 48 97 22.8 74.2				
		内名 泰 43 53 96 22.8 73.2				
4位 224.4	燃えつきた赤ヘル (中国遊商A)	松原 陽輔 57 53 110 33.6 76.4				
		二上 泰造 52 50 102 27.6 74.4				
		金澤 知平 60 61 121 36.0 85.0				
		金子 龍敬 50 44 94 20.4 73.6				
5位 224.6	伊達男B (東北遊商B)	佐藤 広喜 43 48 91 15.6 75.4				
		永山 恵治 51 50 101 22.8 78.2				
		海保 仁 40 43 83 7.2 75.8				
		工藤 浩以 35 42 77 3.6 73.4				
6位 225.0	九州メンタイ (九州遊商A)	石山 敬達 49 48 97 20.4 76.6				
		岩下 卓世 50 49 99 24.0 75.0				
		布田 潤一 43 46 89 15.6 73.4				
		山田 和男 67 53 120 36.0 84.0				
7位 226.0	お遍路さん (四国遊商A)	日野 泰昌 46 49 95 16.8 78.2				
		今村 敬喜 42 43 85 12.0 73.0				
		琴利 勝利 47 44 91 14.4 76.6				
		植田 優 44 42 86 9.6 76.4				
8位 228.0	どさんこB (北海道遊商B)	近藤 充弘 50 65 115 30.0 85.0				
		丸山 大輔 41 42 83 10.8 72.2				
		中村 賢一 52 57 109 28.8 80.2				
		大野 勝生 49 53 102 26.4 75.6				
9位 229.2	赤坂スワローズ (東日本遊商B)	安藤 享 47 59 106 31.2 74.8				
		水口 佳孝 48 51 99 18.0 81.0				
		佐々木 勝司 42 53 95 21.6 73.4				
		小島 利幸 60 58 118 34.8 83.2				
10位 229.2	あ〜松島 (東北遊商 招待)	鈴木 修 51 62 113 27.6 85.4				
		林 義信 48 49 97 20.4 76.6				
		東海 良弘 44 58 102 25.2 76.8				
		渡部 修 49 58 107 31.2 75.8				
11位 229.6	どさんこA (北海道遊商A)	遠藤 康廣 52 51 103 24.0 79.0				
		金沢 泰 46 45 91 15.6 75.4				
		櫻井 篤行 50 50 100 24.0 76.0				
		葛西 孝宏 52 49 101 22.8 78.2				
12位 229.6	銀座ジャイアンツ (東日本遊商A)	中村 昌勇 48 44 92 12.0 80.0				
		徳本 敦光 43 48 91 12.0 79.0				
		田結 和浩 50 44 94 18.0 76.0				
		村上 永政 44 45 89 14.4 74.6				
13位 231.4	デ・関商 (関西遊商B)	総田 麟 58 68 126 36.0 90.0				
		荒谷 博文 48 57 105 25.2 79.8				
		三木 健一 46 49 95 19.2 75.8				
		草加 和徳 43 46 89 13.2 75.8				
14位 233.6	タイガーオックス (関西遊商A)	和久田 守彦 46 48 94 18.0 76.0				
		松川 博光 52 52 104 25.2 78.8				
		加藤 誠一 44 48 92 13.2 78.8				
		小山 康行 47 49 96 15.6 80.4				
15位 235.2	ラッキーパーソンズ (全商協 歴代会長)	水野 新市 54 58 112 32.4 79.6				
		寺内 一史 50 50 100 24.0 76.0				
		井坂 武彦 58 64 122 36.0 86.0				
		井上 威夫 52 48 100 20.4 79.6				
16位 235.4	こんぴら (四国遊商B)	天本 相石 57 58 115 30.0 85.0				
		松本 豊 53 51 104 28.8 75.2				
		砂川 生明 51 51 102 21.6 80.4				
		河野 賢一郎 41 46 87 7.2 79.8				
17位 236.2	日工組A (日工組 招待)	市原 高明 48 51 99 21.6 77.4				
		石橋 保彦 51 53 104 26.4 77.6				
		金沢 全求 46 46 92 10.8 81.2				
18位 239.2	伊達男A (東北遊商A)	高橋 一則 58 50 108 22.8 85.2				
		福地 健次 54 47 101 22.8 78.2				
		平川 智也 48 48 96 18.0 78.0				
		安達 幸司 54 53 107 24.0 83.0				
19位 244.6	日工組B (日工組 招待)	新井 悠司 43 52 95 18.0 77.0				
		山澤 求 54 62 116 28.8 87.2				
		中川 尚也 49 59 108 27.6 80.4				
20位 256.2	風来坊 (中部遊商B)	前島 敏宏 66 70 136 36.0 100.0				
		佐々木 一志 57 54 111 30.0 81.0				
		山川 裕 61 58 119 34.8 84.2				
		船戸 良徳 61 66 127 36.0 91.0				



日工組・市原理事長の華麗なドライバーショット

前夜祭で乾杯の音頭をとる
日工組の石橋副理事長



前夜祭で
出場選手の健闘を期待する中村会長



前夜祭を盛り上げた
福島県郡山市のエミフラスクールの
フラダンス
全国大会で優勝した
柴田三兄弟の津軽三味線

東北遊商

8月1日、山形国際交流プラザで、平成24年度「山形県暴力追放県民大会」が開催された。昨年8月に、山形県暴力団排除条例が施行されており、ちょうど1年が経過している。出席者は約400人で、東北遊商からも事務局職員1人が参加した。

開会宣言のあと、山形県警察本部長があいさつを行った。弁護士による「暴力団事務所撤去訴訟の現状と課題」と題した記念講演が行われ、仙台市青葉区立町の住民らが、地区内にある暴力団事務所の使用差し止めを求めた訴訟を上げ、地区から暴力団事務所を退去させることができた例などが説明された。

大会に参加した職員は「記念講演の訴訟については新聞などで知っていましたが、改めて地域の力を結集して暴力団を排除しなければと感じました。事件のあった青葉区は、東北遊商の組合事務所がある場所と同じ地区ですので、人ごととは思えません。東北遊商としても、今後このような活動に協力していきたいと思います」と感慨深く話した。

山形県暴追県民大会に参加

北遊商

7月3日に行われた北海道パチンコ業界等の有志による、地域の清掃活動「すすきの・ごみ拾いクリーン作戦」に、北遊商からも遠藤理事長はじめ多数が参加した。

当日は、総勢147人が集まり、複数の班にわかれ、路上の空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻など10袋分のごみを拾った。

作戦に参加した北遊商事務局職員の星野さんは「広範囲にわたっての掃除でしたが、多くの人数で行ったので思っていたよりも早く掃除が出来ました。『すすきの』は、たくさんの観光客のみなさんも訪れますので、気持ちよく過ごしてもらえたらと思い、お手伝いさせていただきました。機会があればまた参加したいです」。さらに一緒に参加した事務局の藤原さんも「いろいろな団体の方と協力して活動でき、よかったと思います。意外とごみが多くてびっくりしました」とそれぞれ感想を述べた。

すすきの・ごみ拾いクリーン作戦に参加

Vol.7

中国遊商



8月24日夜、中国遊商組合員と事務局職員は、MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島で、プロ野球観戦を楽しんだ。企画したのは、中国遊商の福利厚生委員会で、参加人数は135人。事前に組合で希望者を募り、1社につき2枚までの無料チケットを配布した。対戦カードは、もちろん広島東洋カープ対阪神タイガース。飲食しながら観戦できるパーティーフロアで、赤いタオルや風船を手に応援したが、残念ながら試合結果は、引き分けだった。

参加した松原理事長は「マツダスタジアムは、平成21年に完成した広島市の新しいシンボルで、パーティーフロアのほかに、砂かぶり席、スイートルーム、テラスシートなども提供しており、面白い球場だ。みんなで集まり大きな声で応援して、日頃のストレスも解消され、良い夏の思い出になった。パチンコ業界は、今、いろいろと厳しい局面にあるが、私たちの業界は、あくまで娯楽産業、厳しい厳しいばかりではなく楽しい気持ちも忘れないで、組合員同士の結束を強めたいと思う」と前向きに語った。

プロ野球観戦で夏の思い出

関西遊商

関西遊商では、連休を利用して組合事務所の移転を行い、9月18日から新事務所での業務を開始した。

新事務所は、旧事務所から東へ約100m、地下鉄「なんば駅」から徒歩5分の好立地にあるナンパプラザビルの7階。

同ビル内には、大規模な会議や研修会などが行なえるテナント限定の貸会議室も完備しており、組合事務所としては最適な環境だ。1階部分は駐車スペース、屋上には四季の草花が咲く庭園もある。

引越作業を無事終了した村中事務局長は「以前の事務所は、4フロアに分かれていたのので、組合員様や役員様にご不便をかけることもありました。今後は、組合員様の利便性の向上と業務の効率化を図り、より良い仕事を提供したいですね」と意欲を見せた。

組合事務所を移転





中部遊商

中部遊商では、組合事務所にAEDを設置している。AEDとは、心臓の心室細動時に電気ショックを与えて、突然止まってしまった心臓の動きを取り戻すように試みる医療機器だ。

昨年末、名古屋市消防局の協力を得て、役員や事務局職員がAEDの操作方法などを教わる「普通救命講習」を組合会議室で受講した。講習会では、まずビデオを見て救命手順を学び、その後マネキンを使用した心肺蘇生法や実際のAEDを使った電気ショックの与え方などを実践した。その結果、事務局職員全員がAEDの取り扱いをできるようになった。

この講習会を企画した事業・広報委員会の船戸委員長は、次のように設置の理由を説明している。「AEDは、最近駅などでも良く見かけられるようになりましたが、実際に操作できる人はまだ限られています。昨年サッカー選手の事故が報道されましたが、AEDがあれば助かる命があります。中部遊商では組合事務所の入り口に『AED設置』のシールを貼り、組合にきた人だけでなく、万一周辺で事故があったときにも対応するつもりです」。

組合事務所にAEDを設置

東遊商

東遊商では、このたび「のめり込み」問題への解決に向け、ばちんこ依存問題相談機関である「リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）」の電話番号と「パチンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです。」というコピーが印刷された紙が入ったポケット・ティッシュを424万個製作して、東遊商管内の1都10県の各ホールに配布した。

配布されたホールは、各県遊協傘下の合計4240店舗、1店舗につき1000個が配られ、各店舗において顧客に手渡された。

ばちんこ・パチスロへの「のめり込み」問題は、業界全体として取り組む必要が急務な課題。RSNでは、電話などで相談をしてきた人に対して、問題解決に必要な専門機関を紹介するなどの対応をしている。東遊商では、ひとりでも多くの人に「リカバリーサポート・ネットワーク」の存在を知ってもらい、問題の解決に向けて活動したいと考えている。

『のめり込み』問題に取り組む



地区遊商だより

九州遊商

被災地でボランティア

九遊商では6月26日から29日まで、社会貢献活動の一環として東日本大震災被災地ボランティア活動を実施した。リサイクル環境対策委員のメンバーを中心に全組合員にも参加を募り総勢15人でチームを組み、被災地でのボランティア経験のある八坂真吾理事がリーダーを務めた。

現地では地元で長期滞在しているボランティア団体から被災地の復興状況の説明を聞き、南三陸町で公園の整備・仮設住宅での炊き出し、気仙沼ではワカメ工場の復興支援等の活動を行なった。武下リサイクル環境対策委員長は「九遊商としては今回初めてのボランティア活動でした。実際現場に入ると、状況は想像をはるかに超えた惨状を呈していましたが、多くの被災者の方が前を向き、懸命に生きる姿にたくさんの勇気を頂きました。また、8月10日には九州北部豪雨災害に12人のボランティア隊を派遣し、12月には今年2回目の組合主催の献血を実施します。微々たる歩みではありますが、これからも様々な社会貢献活動に取り組んでいきたいと思えます」と語った。



四国遊商

四国遊商では、子ども虐待防止オレンジリボン運動に参加している。

「オレンジリボン運動」とは、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子どもの虐待をなくすことをよびかける市民運動のことで、NPO法人「児童虐待防止全国ネットワーク」が主催している。

四国遊商では、この運動に参加することを理事会で決定し、「私たちは、子どもの成長と発達を支援することが、社会全体の責任であることを自覚して、次のとおり行動します」などと書かれたA4のチラシを組合員に配布して、運動への参加を呼びかけた。

四国遊商では、今後もこのような社会貢献活動を推進していく予定。

オレンジリボン運動に参加

ぱちんこ依存問題相談機関

リカバリーサポート・ネットワークへの協力支援

パチンコ・パチスロへの「のめり込み」問題に対する取組みは、対策強化が急務とされている。

全商協は、特定非営利活動法人「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」に対して支援を行っている。

この相談は、パチンコ・パチスロへの過度のめり込みに苦しむ人たちに対し、早期の適切な介入を行うことにより、回復へと導くためのもの。また、「のめり込み」問題について機関誌による情報発信等も行っている。

「地区だより」の中でも紹介したように、東遊商では、リカバリーサポート・ネットワークの電話番号などが印刷されたポケット・テ

イシユを製作し、東遊商管内にある各ホールへ配布、来店するお客様への手渡しをお願いしている。全商協は、今後も各地区遊商と連携して、「のめり込み」問題について取り組んでいく。

リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)とは、パチンコ・パチスロの遊技に関する依存及び依存関連問題解決の支援を行うことを目的に設立された非営利の相談機関。

具体的な活動として、

月曜日から金曜日までの午前10時から午後4時の間、無料電話相談(050・3541・6420)を行っている。また、相談者に対し、問題解決に必要な専門機関を紹介するなど対応も行う。



▲ポケット・ティッシュ

▼リカバリーサポートのチラシ

パチンコは、
適度に楽しむ
遊びです。

パチンコ依存は、
誰にでも起こりうる問題です。
ひとりで悩まず、
お電話ください。

もし、ひとつでも当てはまるなら、
あなたの遊技は、もう“適度”を
超えてしまっているかもしれません。

- パチンコをするためにウソをついた
- 使ってはいけないお金を、使ってしまった
- 負けを取り返そうとして、
もっとお金を失くした
- やり始めると、時間や金額が
分からなくなってしまう
- パチンコをするために、お金を借りた
- パチンコが原因で、大切な人と
ケンカになった

相談窓口

050-3541-6420

月～金(土日祝祭日除く)午前10:00～午後4:00

ホームページ

<http://rsn-sakura.jp/>

ぱちんこ依存問題相談機関

特定非営利活動法人 **リカバリーサポート・ネットワーク**



リカバリーサポート・ネットワークは、ぱちんこ依存問題からの回復を支援する非営利相談機関です。電話による無料相談を行っています。相談は匿名でお受けしています。当団体の活動は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援、会費、寄付によって支えられています。

※パチンコ・パチスロ産業21世紀会(加盟14団体)

全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、全国遊技機商業協同組合連合会、回胴式遊技機商業協同組合、遊技場自動補給装置工業組合、遊技場メダル自動補給装置工業組合、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、一般社団法人電子認証システム協議会、一般社団法人プリベイドシステム協会

編集後記

■新聞・雑誌、テレビ、ラジオ等のメディアで、このところ特に高齢者の話題が多いような気がするがしてならないのは、当事者がその仲間入りした証なのかも知れない。が、人間誰しもが自分だけではいつまでも若く現役でいたいと願うのは自然の理で、好ましくないお年寄りの出来事にはわが身は関係ないものと勝手に思い込みたもの。だが、現実にはそうは甘くない。現状をしっかり把握して、普段の努力を怠らず、心身ともに健康を維持することで、若手や中堅の仲間から信頼されるベテランとしてのシニアの存在価値はある筈だ。

■そうすれば、時には嬉しい、思わずニコリとしたくなる様な話題が飛び出してくると、その効力に肖りたいと熱心に探求心が働いて、様々な好奇心が湧いてくるから不思議だ。肉体的に元気が出たり、精神的にも豊かな気分になってくれる。世間では「シニアを掘り起こせ!」といった見方も出てきて、経済面での期待感も話題になって来ている。ゴルフやマラソンなどスポーツや旅行、文化などの余暇活動での、シニア層の消費が活発になれば、デフレ脱却のきっかけにもなるかも知れない。

■今や国民の4人に1人が65歳以上の高齢者という日本。数年後にはシニア層が消費の主役に躍り出るとの観測報道もあるなど、景気を良くするためのターゲットが、これまでの若者や中年層から高齢者向けに変化しつつあるようだ。日経によれば、シニア層の潜在的な需要は、旅行やゴルフ等の余暇活動や衣料品で年間、数兆円に上るといふ。それらの需要が眠っているとすれば、是非とも呼び起こして、景気回復に役立てて欲しいものだと思う。悲観的な未来予想を打ち消すにも、やはりベテラン勢の活躍が重要なカギになってくるはずだ。シニア層の奮起に期待したい。(S)

NEWS

ダイナムが香港市場に上場 ホール企業として初の快挙

ダイナムジャパンホールディングスは8月6日、香港証券取引所メインボードに新規株式公開(IPO)を果たした。

すでに遊技機メーカーや周辺機器メーカー等の一部は国内で上場しているが、ホール企業の上場は国内外で史上初となり、日本では未上場の企業が香港市場へ上場するプライマリー上場でも第1号となった。

同社が新規株式公開によって調達した資金は約160億円。そのうち75%を向こう3年間に新規出店を計画する75店舗の出店費用とする方針で、残り25%をM&A(10%)、IT関係への投資(5%)、運転資金(10%)に充当する計画だ。

全日遊連加盟店舗の実態調査 パチスロが140万台まで回復

全日遊連が毎月実施している組合加

盟店舗調査によると、今年8月末現在の加盟ホール数は前月比5店舗増の1万1227店舗。今年4月以来4か月の増加となった。新規店舗数は26店舗、廃業店舗数は21店舗となっている。

また、パチンコの設置台数は281万7356台で、前月比47144台の減少。パチンコの減少傾向に歯止めはかかっていない。一方、パチスロは前月比8935台増の141万362台。前月7月に08年9月末以来4年10か月ぶりに140万台を回復したが、増加傾向はなおも続いている。パチンコ・パチスロの総台数は422万7878台となった。

都遊協の復興支援事業が 社会貢献大賞を受賞

全日本社会貢献団体機構は7月19日、第7回社会貢献大賞表彰式を開催。当日は27都府県方面遊協から申請のあつ

た73件から社会貢献大賞や各部門の最優秀賞等が発表された。

栄えある社会貢献大賞は都遊協の「石巻津区ボランティア隊派遣」事業が受賞。

各部門の最優秀賞では、都府県方面遊協部門を兵庫遊協、支部組合部門を長野遊技場組合、組合員ホール部門を(有)マルカメ(宮城県)が受賞した。

また、表彰式後には平成24年度助成事業助成金贈呈式も行われ、特別助成「東日本震災復興関連事業」や一般助成「子どもの健全育成支援事業」など5分野26件に総額6040万円の助成金が贈呈された。

上半期の確認証紙の集計結果

中古機流通協議会から委嘱され全商協で発行している確認証紙(中古用)の平成24年4月から9月までの発行枚数が、約61万枚と集計された。累計前年比98%で推移している。

次号は1月新年号です。
「8地区遊商理事長の年頭所感」
ほかを掲載予定です。



<http://www.zenshokyo.jp/>